

# みよし運動公園出入口改修工事設計図

MEMO	(縮小率：A2 = 100% , A3 = 70% )		有限会社 永井一級建築士事務所 広島県三次市甲奴町本郷650-8    T E L 0847-67-2472 広島県知事登録 ( 24(1)第3940号 )    F A X 0847-67-3808	図面名 表 紙		工事名 みよし運動公園出入口改修工事 設 計 図						
				縮尺 ー		製作日		1級建築士 第111572号	永井秀昭			
												No. A - 0

工 事 概 要

工事名称	みよし運動公園出入口庫改修工事	
発 注 者	住 所	広島県三次市十日市中二丁目8番1号
	氏 名	三次市長 福岡 誠志
施設概要	施設名称	みよし運動公園
	地名地番	三次市東酒屋町敦盛493
	建物用途	運動公園 メインスタンド
	工事の種別	改修工事（出入口庫取替え他）
	構 造	R C造
	階 数	2階建て
	建築面積	1,250.62㎡
	延床面積	2,088.42㎡

工事概要

本工事は、みよし運動公園出入口庫改修工事です。

既設建物を使用しながらの改修工事の為、事前に現地をよく確認したのち技術的内容を記載した施工計画書、施工図を作成してください。

また、工事手順、安全対策騒音対策等の内容を記載した安全計画書を作成し係員の承諾を得て工事に着手してください。

尚、下請協力業者は実績のあるものとし係員の承諾を得るものとします。  
別紙仕様書、設計図等により入念に施工を行ってください。  
不明な点は係員と協議を行いその指示によってください。

工事工程等

事前に関係者（共生社会推進課・都市建築課・設計事務所・協力業者等）と協議を行い、詳細工程表及び総合仮設計画書を作成し、承諾を得た後工事に着手してください。

全体の工期は入札要綱の通りです。

工事中の移動及び復旧

工事等の支障になる物の移動及び復旧等は全て工事請負業者の負担で行ってください。

工事監理を建築設計事務所に委託しておりますので提出書類等は工事監理者を通して提出ください。

【 注意事項 】

別紙提示の内訳明細書の取扱いについて

現場説明書及び設計図を最優先とし、内訳明細書はあくまでも参考資料としてください。

入札に先立って入札参加者において数量を算出し、それに基づいて入札価格を決定し入札に臨んでください。

尚、内訳明細書の数量等に疑義がある場合は入札前の所定の期間内に協議書を提出ください。

【 指示事項 】

- ① 工事に必要な諸官庁その他への手続きは一切請負者にて行うこと。
- ② 工事車両等の運行については、交通安全に最善の注意を払うこと。  
万一事故等が発生した場合は、担当者に連絡するとともに請負業者で解決を図ること。

- ③ 火災等発生しないよう最善の注意をすること。  
万一火災等での損害は、請負者で負担願う事になるので、工事の出来形（可燃部分）に応じ火災保険を締結して保険証書を提出すること。  
その最終保険契約期間は、完成日より20日間延長した期日とすること。  
尚、敷地内は全て禁煙とする。

- ④ 振動・騒音等には十分な対策を講じて工事を行うこと。もしこれらに関する注意及び苦情の申し出があった場合は、請負者において解決を図ること。

- ⑤ 作業場は常に整理整頓を心掛け、毎日作業終了後清掃を行うこと。
- ⑥ 着手届けに添付する工程表は、綿密な計画によって作成すること。  
毎日最低1回は工程表の見直しを行い、7日以上遅れが生じた場合は再度工程表を作成提出し係員の承認を得ること。

- ⑦ 既存設備を使用する場合は、事前に使用願いを提出し承認を得ること。  
この場合有料とするので、係員の指示に従い速やかに納付すること。

- ⑧ 図面を製本し提出すること。 ・ A 4 版 2 部（表紙付、契約用）  
・ A 3 版 部（現場用）  
⓪ A 4 版 3 部（A3 2ツ折り製本）

- ⑨ 不明な点については、係員と協議の上施工すること。

- ⑩ 解体撤去及び産業廃棄物の処分については、関係法令に基づき届け等を含め、適切に処分すること。必要に応じてマニフェストを提出すること。

- ⑪ 工事着手前に大気汚染防止法第18条の15第1項，3項による調査を行う事。

提出書類一覧

提出書類様式は発注者HPからダウンロードして作成の事。  
提出書類表紙(工事打合せ簿)に監理者押印欄を記入の事。

提出書類は A 4 又はA3二ツ折とする事。

工事名		みよし運動公園出入口庫改修工事		請負業者	
		項 目	部数	提 出 期 日	備 考
○	1	着手届（発注者書式）	3	契約後速やかに	工事監理者にも提出の事
○	2	主任技術者・監理技術者・現場代理人通知	3	14日以内	雇用関係証明書添付
○	3	同上誓約書及び経歴書（書式は自由）	3	14日以内	免許証等（写し）添付
○	4	工事カルテ（コリンズ）	3	10日以内	請負契約500万円以上
○	5	詳細基本工程表	3	14日以内	A 3 版程度
○	6	見積書（請負者が算出した数量による内訳明細書）	3	14日以内	A 4 版
○	7	施工体制台帳及び施工体系図	3	14日以内	下請業者名簿共
○	8	退職金共済制度（建退共）	3	14日以内	
○	9	工事材料搬入・検査報告書(材料確認書)	3	事由発生後14日以内	納入実績量共
○	10	総合仮設計画書（安全計画書含む）	3	5日以内	A 3 版程度の図面添付
○	11	提出書類綴込み用空ファイル	3	5日以内	10 c m用程度
○	12	建設リサイクル法届	3	契約時	
	13	消防設備設置計画書	3	工事着手前	
	14	給水装置工事申込書及び完了届，完了検査	3	工事着手前	
	15	排水設備等計画確認申請書（給水設備共）	3	工事着手前	完了届共
○	16	社会保険等	3	各工事着手前	
○	17	再生資源利用計画書	3	工事着手前	
○	18	大気汚染防止法説明書及び調査	3	着工迄に	大気汚染防止法第18条の15第1項，3項
○	19	工事用保険証の写し(火災保険共）	3	着工前	工期の20日延長
○	20	施工図・製作図・承認図	3	各工事着手前	
○	21	施工計画書	3	各工事着手前	
○	22	材料承認願い等	3	各工事着手前	
○	23	主要資材購入先名簿	3	資材搬入前	省略不可
	24	コンクリート配合表	3	工事着手前	
	25	コンクリート圧縮試験結果表	3	7日以内	4 週（公共機関試験）
○	26	休業日作業届	3	工事着手前	
○	27	期間別工事工程報告書(現況写真添付のこと)	3	毎月 2 回	工程が確認できるように撮影
○	28	工事履行報告書	3	毎月7日までに	工事状況が確認できる写真添付
○	29	工事打合簿，工事指示書，工程会議資料等	3	随 時	
○	30	質疑回答書	3	必要に応じて	
○	31	産廃契約書及びマニフェスト写し	3	受領後速やかに	写真添付
	32	アスファルト調査表、試験表	3	随 時	
	33	工程指定の報告書（法 第12条3項）	3	随 時	写真添付のこと
	34	鉄筋及び鉄骨試験表	3	随 時	ミルシート等
	35	各種試験成績書(アンカー引抜，溶接探傷等)	3	随 時	
○	36	機能及び性能試験成績書	3	随 時	
	37	出来高請求書	3	随 時	写真添付
○	38	再資源化等報告書	3	完了後速やかに	
○	39	材料出荷証明書	3	完了時	
	40	塗装関係の使用量の報告書	3	完了時	空缶等確認出来る写真共
○	41	電気絶縁抵抗試験表	3	完了時	
	42	テレビ共聴電解強度試験表・画面解像度表	3	完了時	
○	43	接地抵抗試験表	3	完了時	
	44	水圧試験報告書	3	完了時	
○	45	ガス気密試験報告書・各種試験報告書	3	完了時	
○	46	電気メーター指針表	3	完了時	既設設備を使用する場合
○	47	水道メーター指針表	3	完了時	既設設備を使用する場合
○	48	安全実施報告書（KY、バトロール、安全日誌等）	3	完了時	
○	49	下請負業者一覧表（メンテナンス用）	3	完了時	住所，電話他記載
○	50	社内検査表（チェックリスト添付）	3	完了時	
○	51	各工事保証書(防水，各機器等)	3	完了時	
	52	鍵番号表及鍵引渡書	3	完了時	
○	53	竣工図（文字入り製本・A 3 版二ツ折）CD共	3	完了時	原図を訂正のこと
○	54	工事写真	3	完了時	C D データ
○	55	完成写真（撮影箇所は監督員の指示による）	3	完了時	C D データ
○	56	完成通知届	3	完了14日前迄に	
○	57	引渡書	3	検査通知後14日以内	
○	58	上記以外に発注者、監督員の指示によるもの	3	随 時	



付近見取図

MEMO（縮小率：A2＝100％，A3＝70％）



有限会社 永井一級建築士事務所

広島県三次市甲奴町本郷650-8 T E L 0847-67-2472

広島県知事登録（ 24 (1) 第3940号 ） F A X 0847-67-3808

図面名 工事概要・付近見取図

縮尺 製作日

工事名 みよし運動公園出入口庫改修工事 設 計 図

1級建築士 永井秀昭 No. A - 1

工事概要

1 工事名称

みよし運動公園出入口庫改修工事

2 建築場所

三次市東酒屋町敷地493

3 主要用途

・運動公園　メインスタンド

4 工事種別

・改修工事（出入口庫取替え他）

5 構造階数

・改修工事（出入口庫取替え他）

6 工事種目

1，建築工事　一式

2，電気設備工事　一式

3，上記に伴う工事　一式

建築工事仕様

1．共通仕様

（1）図面及び特記仕様に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房営繕部監修の「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）（最新版）」（以下、「標仕」という。）

2．特記仕様

（1）項目は、番号に○印の付いたものを適用する。

（2）特記事項は、○印の付いたものを適用する。

○印の付かない場合は、印の付いたものを適用する。

○印と○印の付いた場合は、共に適用する。

（3）特記事項に記載の（ ）内表示番号は、標仕の当該項目、当該図又は当該表を示す。

（4）特記事項に記載の（別 ）は（5.3.7）による別図「各部配筋」の当該項目を示す。

（5）製造所名は、五十音順とし「株式会社」等の記載は省略する。また（ ）内は製品名を示す。

（6）[区]印は「国等による環境物品等の調達の推進に関する法律」の特定調達品目を示す。

（7）瑕疵担保調査・建設工事請負契約款に定める期間内

章

項目

特記事項

1一般共通事項

① 適用基準等

○建築工事標準詳細図（国土交通省大臣官房官庁営繕部建築課監修 平成22年版）

○建築教育設計基準・同解説（建設大臣官房官庁営繕部監修 平成10年版）

○工事写真の撮り方（改訂第二版）建築編（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修）

② 工事実績情報の登録

適用する（1.1.4）

③ 品質計画

○建築基準法に基づく風圧区分等を必要とする場合は次による。（1.2.2）

風速（V<sub>0</sub>＝3.0）

地表面粗度区分（・・・・○・）

○積雪区分 建m示第1455号 75 cm

④ 電気保安技術者

工事現場におく電気保安技術者は、電気事業法に基づく電気主任技術者の職務を補佐し、（1.3.3）

電気工作物の保安の業務を行うものとする。

・要 ○不要

5 条件明示項目

（1.3.5）

⑥ 発生材の処理等

・引渡しを要するもの（ ）（1.3.8）

・特別管理産業廃棄物（ ）

・現場再利用を図るもの（ ）

○再生資源化を図るもの

（・建設発生土 ○コンクリート塊 ・アスファルトコンクリート塊 ○建設発生木材 ○鉄くず）

○上記以外 1.1.13（b）（5），及び監督職員との協議による。

（1）建設工事（解体撤去工事も含む）から発生する建設廃棄物は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」を遵守し、建設副産物適正処理推進要綱に基づき適正に処理すること。

また、元請け業者は、本工事により発生する特定建設資材廃棄物（特定建設資材（コンクリート、アスファルト・コンクリート及び木材）が廃棄物になったもの）については建設工事に係る資材の再生資源化等に関する法律」（以下「建設リサイクル法。」）及び「廃棄物の処理及び清掃に関する法律（以下「廃掃法」）を遵守し、適正に処理すること。

（2）元請け業者は、請け負った建設工事の全部若しくは主たる部分及び他の部分から独立してその機能を発揮する工作物の工事以外の部分を他の建設業を営む者に請け負わせようとする時は、当該他の建設業を営むものに対して、建設リサイクル法第12条第2項に基づき、法第10条第1号から第5号までに掲げる事項について告知すること。

（3）建設工事の元請け業者は、「建設廃棄物処理施工計画書」、「再生資源利用計画書」及び「再生資源利用促進計画書」のとおり建設廃棄物が適正に処理されたことを確認するとともに、必要に応じて現地にに応じて現地による確認、立入検査を行うこと。

（4）提出書類

元請け業者は、工事着手前に、次の書類を監督員に提出すること。

○建設廃棄物処理施工計画書

以下の書類を添付すること。

ア 廃棄物処理業者（収集、運搬、中間処理・最終処分）の許可の写し

イ 運搬ルート及び処分場の位置、事業の範囲、処理能力、処理方法を明示したものと。

ウ 処分場の現地確認写真

エ 建設工事の元請け業者と処理業者（収集、運搬、中間処理・最終処分）との2者の業務委託契約書の写し

○再生資源利用計画書

○再生資源利用促進計画書

⑦ 建築材料等

⑧ 化学物質を放散する建築材料等

9 特別な材料の工法

⑩ 技能士

11 化学物質の濃度測定

元請け業者は、「再生資源利用計画書」、「再生資源利用促進計画書」及び建設廃棄物処理施工計画書に従い建設廃棄物及び特定建設資材が適正に処理されたことを確認し、工事完成時に次の書類を監督員に提出すること。

○再生資源利用実施書

○再生資源利用促進実施書

以下の書類を添付すること。

ア マニフェスト（産業廃棄物管理票）A・D・E票の写し及び再生資源化に係るものについては、受入伝票の写し（マニフェストは原則として厚生労働省が示す全国統一のマニフェストを使用）

イ 収集、運搬の写真、中間処理場・最終処分場（直接最終処分場の場合のみ）への処分、状況の写真

（5）本工事で発生した建設資材廃棄物は、広島県（環境局）及び保健所設置政令市広島市、呉市、福山市）が、廃棄物処理法に基づき許可した適正な施設で処理すること。

（6）本工事における再生資源化に要する費用（運搬費を含む処分費）は、前記（5）に掲げ施設のうち受入条件が合うものの中から、運搬費と受入費（平日の受入費用）の合計が最廉率的なものを見込んでいる。従って、正当な理由がある場合を除き再生資源化に要する費用（単価）は変更しない。

（7）産業廃棄物の処理に係る税について、本工事で発生する建設廃棄物のうち、広島県最終処分場に搬入する建設廃棄物については、広島県産業廃棄物埋立税が課税されるので適正に処分すること。

なお、本工事で広島県産業廃棄物埋立税相当額を見込んでいます。

（8）本工事は、建設副産物情報交換システム（（財）日本建設情報総合センター）の登録建設工であり、請負者は施工計画時、工事完了時及び登録情報の変更が生じた場合は速やか当該システムにデータへの入力を行うものとする。

また、再生資源利用計画書、再生資源利用促進計画書について、当該システムにより作成され、施工計画書に添付すること。なお、これにより難しい場合は、監督員と協議すること。

本工事に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとしI S及びJ A Sマークの表示のない材料及びその製造者等は、次の（1）～（6）の事項を満たすものとする。

（1）品質及び性能に関する試験データが整備されていること

（2）生産施設及び品質の管理が適切に行われていること

（3）安定的な供給が可能であること

（4）法令等で定める許可、認可、認定又は免許等を取っていること

（5）製造又は施工の実績があり、その信頼性があること

（6）販売、保守等の営業体制が整えられていること

なお、これらの材料を使用する場合は、設計図書に定める品質及び性能を有することの概となる資料又は外部機関（（社）公共建築協会「建築材料等評価名簿」）が発行する資料等の写しを監督職員に提出して承認を受けるものとする。ただし、あらかじめ監督職員の承認を受けた場合はこの限りではない。

また、備考欄に商品名が記載された材料は、当該商品又は同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は、監督職員の承認を受ける。

使用する材料・製品はアスベストが含有しないものとすること。

本工事の建物内部に使用する建築材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、次の（1）から（5）を満たすものとする。

（1）合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、仕上げ塗材及び壁紙は、ホルムアルデヒドを放散しないが、放散が極めて少ないものとする。

（2）保温材、緩衝材、断熱材はホルムアルデヒド及びスチレンを放散しないが、放散が極めて少ないものとする。

（3）接着剤はフタル酸ジ・n-ブチル及びフタル酸ジ・2-エチルヘキシルを含有しない難揮発性の可塑性剤を使用し、ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを放散しないが、放散が極めて少ないものとする。

（4）塗料はホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを放散しないが、放散が極めて少ないものとする。

（5）1）、3）及び4）の建築材料等を使用して作られた家具、書架、実験台、その他機器等は、ホルムアルデヒドを放散しないが、放散が極めて少ないものとする。

また、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」は、次のとおりとする。

規制対象外

J I S及びJ A SのF 規格品

建築基準法施行令第20条の5第4項による国土交通大臣認定品

下記表示のあるJ A S規格品

a. 非ホルムアルデヒド系接着剤使用

b. 接着剤等不使用

c. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない材料使用

d. ホルムアルデヒドを放散しない塗料等使用

e. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料使用

f. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料等使用

第三種

J I S及びJ A SのF 規格品

建築基準法施行令第20条の5第3項による国土交通大臣認定品

旧J I SのE o規格品

旧J A SのF c o規格品

標仕に記載されていない特別な材料の工法については、材料製造所の指定する工法とする。

（1.5.2）

適用工事種別

技能検定の職種

鉄筋工事

・鉄筋施工（鉄筋組立て作業）

コンクリート工事

・型枠施工 ・コンクリート圧送施工

鉄骨工事

・とび（ブール取付）

ブロック・ALCパネル工事

・ブロック建築 ・ALCパネル施工

防水工事

・アスファルト防水工事作業 ・合成ゴムシステム防水工事作業

・ウレタン防水工事作業 ・シーリング防水工事作業

石工事

・石材施工（石張り施工）

タイル工事

・タイル張り

木工事

・建築大工

屋根及びびど工事

・建築板金（内外装板金作業）

金属工事

・内装仕上げ施工（鋼製下地工事作業）

左官工事

・左官

建具工事

○サッシ施工 ○ガラス施工 ・自動ドア施工

カーテンウォール工事

・カーテンウォール施工 ・サッシ施工 ・ガラス施工

塗装工事

・塗装（建築塗装作業）

内装工事

・プラスチック系床仕上げ工事作業 ・表装（壁装作業）

植栽工事

・造園

（1.5.9）

施工完了時に室内空気中のホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレンの濃度測定し、報告すること。

測定はアクティブ型採取測定機器により行う。

着工前の測定 ・行う

測定対象室 ・図示 ・新築建物全て

測定面所数 ・図示 ・砂所

・文部科学省が定める指針値以下であること

報告の様式等については、現場説明書による。

⑫ 完成図等

作成する ・作成しない

完成図（CADデータ等） 提出部数 各3部 ・部

設計原因を訂正の上、提出する。

A 2版2ツ折張り合せ製本 部

A 3版2ツ折張り合せ製本 3部

施工図 提出部数 3部 ・部

A 3版2ツ折張り合せ製本（仕様は監督職員と打合せによる。） 3部

施工計画書 提出部数 3部 ・部

保全に関する資料 提出部数 3部 ・部

⑬ 完成写真

下記のものを監督職員に提出する。ただし、原稿は撮影業者の保管とする。

分類・規格

撮影箇所数

提出部数

原稿の大きさ（mm）

○カラー

キャビネ版

外部（1）外構（ ）

内部（6）

3

100×125以上

（他に外観正面十カ所のみ5枚カラーキャビネ版）提出-

カラー半切木製パネル

外部（ ）内部（ ）

2

324×400（mm）

○電子データ

外部（1）内部（各室2枚）

3

1000万画素以上

300dpi以上

100×125以上の原稿を使う場合は、監督職員にあらかじめ焼付を提出し確認を受ける。

電子データは、RGB（フルカラー）、JPE G形式最高画質とし、CD・Rにて提出とする。

撮影業者 監督職員の承諾する撮影業者（ただし、建築完成写真撮影の実績のある業者とする。）

⑭ 設備工事との取合い

設備機器の位置、取合い等の検討できる施工図を提出して、監督職員の承諾を受ける。

⑮ 設計GL

図示

○設計GL＝現状GL（既設建物に準ずる）

⑯ 工事写真

○「営繕工事電子納品要領（案）（平成14年11月改訂版）」による。

⑰ 保証書

「~~一般職工~~」「~~一般職工~~」「~~一般職工~~」「~~一般職工~~」「~~一般職工~~」「~~一般職工~~」「~~一般職工~~」「~~一般職工~~」「~~一般職工~~」「~~一般職工~~」

2仮設工事

① 監督職員事務所

規模及び仕上げの程度は現場説明書による ・指示による ○設けない（2.3.1）

② 工事用水

構内既存の施設 利用できない ○利用できる（有償・無償）（2.3.1）

③ 工事用電力

構内既存の施設 利用できない ○利用できる（有償・無償）（2.3.1）

3土工事

1 埋戻し及び盛土

種別 ・A種 B種 ・C種 ・D種（3.2.3）（表3.2.1）

・建設汚泥から再生した処理土 [区]

2 建設発生土の処理

・現場説明書による ○構外搬出適切処理

・構内指示の場所にたいし種 ・構内指示の場所に敷き均し

3 整地

・建物周囲は、真砂土厚100mm敷き込み上転圧整地のこと。（2m範囲）

4地盤工

1 既製コンクリート杭地業

種別

高強度プレストレストコンクリート杭

（4.3.1～2）

1A 地盤改良

・図示

杭径（mm）

杭長（m）及び種別

継手数

セツト数

備考

試験杭

本杭

杭頭の処理 切断しない（4.3.7）

先端部形状 開放形 ・開き平たん形（4.3.2）

杭の継手 建築基準法に基づく指定又は認定を受けた継手を使用してもよい。（4.3.6）

施工法（4.3.3～5）

・特定埋込み杭工法

工法 ・プレボーリング拡大根固め工法 ・中掘拡大根固め工法

H13国交省1113号第6による支持力算定式で＝25.0程度を採用できる工法

杭周固定液 ・使用する

セメントの種類 6章コンクリート工事のセメントの種類による

コンクリートの種別及び設計基準強度（4.5.3）（表4.5.1）

（ ）種かつ（2.1）N/mm<sup>2</sup>以上

鉄筋の種類 5章鉄筋工事の鉄筋の種類による（4.5.3）

鋼削工法 ・アースドリル工法（安定液使用 ・無水鋼削）（4.5.4）

・リバース工法

・オールケーシング工法（孔内の水漲 ・行う ・行わない）

・場所打ち鋼管コンクリート杭工法

・底底工法（安定液使用 ・ ）

・深掘

側壁測定 ・行う（ ） ・行わない（4.5.4）

セメントの種類 6章コンクリート工事のセメントの種類による

2A 鋼管杭

・別図参照

3 砂利地業

再生クラッシャーラン [区] ・切込み砂利及び切込み砕石 ・図示（4.6.3）

4 床下防湿層

（4.6.6）

5 鉄筋工事

1 鉄筋の種類

（5.2.1）（表5.2.1）

種類の記号

呼び名（mm）

・SD295

D16以下

・SD345

D19～D25

・SD390

D29以上

・溶接金網

呼び名19mm以上の柱・梁の主筋 ガス圧接 ○重ね継手（5.3.4）

最小かぶり厚さは目地底から算定する。（5.3.5）

・全ての箇所の鉄筋の最小かぶり厚さは下表による。

施工箇所

標仕5.3.6の値に加える寸法（mm）

・構造参照

10 ・20

・基礎、土間

・標準仕様書による

構造図を優先とする

コンクリート工事構造設計標準仕様による（）

構造図を優先とする

鉄骨工事構造設計標準仕様による（）

4 既製コンクリート杭の杭頭補強

・A形 ・B形 図示（5.3.1）（別1.1）

5 最上階柱頭補強

行う ・行わない（別2.1）

6 帯筋

H形 ・図示（構造図）（別2.2）

7 床間口部の補強

A形 ・B形 ・図示（構造図）（別4.2）（別表4.3～4）

8 梁貫通孔の補強形式（基礎壁）

H形 ・MH形 ・M形 ・評定品 ・図示（構造図）（別7.1）（別表7.1～3）

9 機械吊上げ用フック

・A種 ・B種 ・C種（ヶ所）（別7.3）

10 圧接完了後の試験

超音波探傷試験 ・引張試験（5.4.9）

11 その他

・構造仕様書を優先とする

6 普通コンクリートの設計基準強度

設計基準強度F<sub>c</sub>（N/mm<sup>2</sup>）

施工箇所

・21温度補正

建物基礎、立上り、土間、受水槽基礎

・18

施、テ、タ、土間

・24

上部躯体

構造図を参照

○発注強度は上記設計基準強度＋S（構造体強度補正值）とする。 S＝2

2 レディーミクストコンクリートの種別

類 ・類（6.1.5）（6.4.1～2）（表6.1.1）

3 スランブ

工作物のスランブ 15又は18cm（建物躯体はS-01図参照）（6.2.3）

4 セメントの種類

（6.3.2）（6.13.2）（6.16.2）（表6.3.1）

普通ポルトランドセメント又は混合セメントのA種（但し、シリカセメントを除く）

・高炉セメントB種 [区]（ ）

普通ポルトランドセメントの品質は、JIS R 5210に示された規定の他、次の規定の全てに適合するものとする。ただし、無筋コンクリートに用いる場合を除く。

水和熱

7d 352J/g以下

28d 402J/g以下

5 骨材の種類

アルカリシリカ反応による区分A ・B（コンクリート中のアルカリ総量R<sub>t</sub>＝3.0kg/m<sup>3</sup>以下）（6.3.3）（6.5.4）

6 混和材料

混和剤 ・混和材（6.3.5）（6.4.8）

7 無筋コンクリート

設計基準強度 18N/mm<sup>2</sup>（6.14.3）

8 コンクリート躯体表面の処理

外装タイル張り面材の躯体表面の処理

MCR工法を行う場合は、せき板面にMCR工法用発泡ポリエチレンシート張りとし、仕上がり面凹凸状態とする。高圧水洗工法の目視しを行う場合は、水圧50N/mm<sup>2</sup>以上かつ、2.5分/m<sup>2</sup>以上とし、施工計画書を監督に提出し承諾を受ける。また、目視しの状態は、事前に監督職員に承諾を受ける。

・コンクリートの磨き厚さ 20mm

施工範囲は図示による。

9 断熱材兼用型枠

適用及び適用箇所について

標仕19章内装工事14断熱材による。

塗装の有無 ○無し ・有り

10 型枠

11 水セメント比

普通コンクリートの水セメント比は65%以下とする。

7 鉄骨工事

1 鉄骨の製作工場

製作工場の加工能力

○監督職員の承諾する製作工場（7.1.3）

・建築基準法第77条の4第1項に基づき国土交通大臣から性能評価機関として認可を受けた（株）日本鉄骨評価センター又は（社）全国鋼構工業協会の「鉄骨製作工場の性能評価基準」に定める「（Ⅱ）グレード」として国土交通大臣から認定を受けた工場又は同等以上の能力のある工場。

2 施工管理技術者

3 鋼材

鋼材の材質

（7.2.1）（7.2.10）（表7.2.1）

種類の記号

使用箇所

規格等

SS400

JIS規格による

SSC400

JIS規格による

STR400

JIS規格による

SNR400B

JIS規格による

構造図を参照

4 スカラップ

改良型スカラップ

5 エンドタブ

鋼製エンドタブ

切断する箇所（・図示による）

トルシヤ形高力ボルト ・JIS形高力ボルト ・溶融亜鉛めっき高力ボルト（7.2.2）（7.12.4）

6 高力ボルト

7 溶接部の試験

AOQL 4.0% ・2.5%（7.6.11）

検査水準 第6水準 ・図示（7.6.11）（表7.6.2）

試験の種類

試験箇所

試験方法

超音波探傷試験

完全溶込み溶接部

標仕7.6.11（b）による

・放射線試験

・マクロ試験

・別図参照

① 交通誘導員（安全誘導員）

○車両準時に配置する

○行う

② 大気汚染防止法調査（アスベスト）

MEMO

（縮小率：A2＝100%，A3＝70%）

有限会社 永井一級建築士事務所

広島県三次市甲奴町本郷650-8 TEL0847-67-2472

広島県知事登録（24(1)第3940号） FAX0847-67-3808

図面名

建築工事特記仕様書

縮尺

—

製作日

工事名

みよし運動公園出入口改修工事 設計図

1級建築士 永井秀昭

No. A - 2

③

防水改修工事

1

降雨等に対する養生方法

改修標準仕様書3.1.3(5)(7)～(9)による。  
・ 図示

[ 3.1.3 ]

2

既存防水の処理

既存保護層の撤去  
・ 行う ( 範囲 図示 )  
・ 行わない  
既存防水層の撤去  
○ 行う ( 範囲 図示 )  
○ 便所床  
・ 行わない  
○ 図示  
既存露出防水層表面の仕上げ塗装の除去  
・ 行う ( ・ M4AS ・ M4ASI ・ M4C ・ M4DI ・ L4X )  
・ 行わない

[ 3.2.3、4、6 ]

3

既存下地の処置

既存下地の補修箇所の形状、長さ、数量等 図示  
POS工法及びPOSI工法 ( 機械的固定工法 ) の既存保護層を撤去し防水層を非撤去とした立上り部等の処置 改修標準仕様書3.2.6(4)(9)(g) による  
設備機器架台、配管受部、バラベット、貫通パイプ回り、手すり・丸環の取付け部、塔置出入口部等の欠損部及び防水層末端部の納まり部の処理 図示。ただし、図示が無いものは監督職員と協議する

[ 3.2.6 ]

4

アスファルト防水

屋根保護防水  
防水層の種類

[ 3.3.2～5 ]

工法

種別

施工箇所

断熱材

絶縁用シート

立上り部の保護

・ P 2 A

・ A - 1  
・ A - 2  
・ A - 3

ゴリエレン  
フィルム  
厚さ  
0.15mm以上  
又はフラット  
ヤーンクロス  
70 / m2程度

・ 乾式保護材  
・ コンクリート  
押え  
・ れんが押え  
JIS R 1250

・ P 1 B

・ B - 1  
・ B - 2

・ P 2 A I

・ A I - 1  
・ A I - 2  
・ A I - 3

(材質)  
JISA621に基づく押出法  
ポリスチレンフォーム断  
熱材3種 b A ( スキン層  
付き )  
(厚さ) (mm)  
25 ・ 50

フラット  
ヤーンクロス  
70 / m2程度

・ P 1 B I

・ B I - 1  
・ B I - 2

改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ  
改修標準仕様書表3.3.5から表3.3.6による  
・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ  
用途による区分 R種  
材料構成による区分 R種  
厚さ ( mm以上 )

部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ  
改修標準仕様書表3.3.3から表3.3.4による  
・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ  
用途による区分 R種  
材料構成による区分 R種  
厚さ ( mm以上 )

平場の保護コンクリートの厚さこて仕上げ  
こて仕上げ 水下 80mm以上  
床タイル張り 水下 60mm以上

乾式保護材  
窯業系パネル：無石綿の繊維質原料等を主原料として、板状に押出成形シートクレープ養生したもの。  
金属複合板：金属板と樹脂を積層一体化したもの。

( 品質・性能 )

分類・規格	・ 窯業系パネル類 ( 寒冷地仕様 )	・ 窯業系パネル類 ( 一般地仕様 )	・ 金属複合板
寸法 ( mm )	厚さ ( mm ) 幅 ( mm )		
寸法の許容差	厚さ：+10%、-5%、幅：±1%		
出荷時の含水率	出荷時ににおいて10%以下	-	-
曲げ強さ・曲げモーメント ( N ・ c m ) ( ス/π40 c m における単位幅1 c mあたりの曲げモーメント )	標準時 550以上 凍結融解完了時 ( 試験サイクル数 ) 400以上 ( 300 )	450以上 320以上 ( 200 )	300以上 250以上 ( 300 )
吸水率 ( % )	20以下	20以下	1以下
吸水による長さ変化率 ( % )	0.07以下	0.07以下	0.01以下
難燃性	不燃	不燃	表面材は不燃
耐凍結融解性能	3 0 0 サイクル後、著しい割れ、剥離がなく、外観上の異常がないこと。	2 0 0 サイクル後、著しい割れ、剥離がなく、外観上の異常がないこと。	3 0 0 サイクル後、著しい割れ、剥離がなく、外観上の異常がないこと。 ( 明らかに吸水しないとは認められるものは耐凍結融解試験を省略できる。 )
耐衝撃性能	質量500 ( 窯業系パネル 類は1,000 ) のなす形おもりを高さ1.0mから試験体の弱点部に落としたとき、裏面に達する穴があかないこと。	質量500のなす形おもりを高さ1.0mから試験体の弱点部に落としたとき、裏面に達する穴があかないこと。残留変形量1/100以下。	
剛性 ( E × I ) ( ス/π40 c m幅30 c mの中央曲げ時に荷重720 Nの時、たわみ4mm以下となる剛性 )	-	-	80,000 N ・ c m2以上

( 試験方法 )  
( 1 ) 寸法の測定方法  
( 厚さ ) 供試体の周辺から20mm以上内側の四隅を0.05mmまで測定できる測定器で測り、4点の平均値を求めたパネルの厚さとする。  
( 幅 ) 供試体を平らな台に置き、供試体のほぼ中央1箇所の幅寸法を、JIS B 7512「鋼製巻尺」に規定する目量1mmの1級コンベックスルール又は、JIS B 7516「金銭性直尺」に規定する目量1mmの1級直尺を用いて測定する。  
( 2 ) 曲げ強度試験は、JIS A 1408「建築用ボード類の曲げ及び衝撃試験方法」による。試験体は3号試験体とする。幅及び厚さは製品寸法とし、支持スパン長さは400mmとする。試験方法は試験体の表面からス/π中央全幅に集中荷重を載荷し、試験体が破壊した時の最大荷重を測定する。同時に破壊時の中央部のたわみ量について、変位計を用いて測定する。測定項目については、凍結融解試験前、同試験100、200、300サイクル完了後の合計4項目に亘って測定する。( 窯業系パネル 類は200サイクルまでとする。 ) など、荷重を加える時の平均速度は、1～3分間で予想最大荷重に達する程度とする。  
( 3 ) 吸水率試験は、JIS A 5430「繊維強化セメント板」に準じて行う。  
( 4 ) 難燃性試験は、JIS A 1321「建築物の内装材料及び工法の難燃性試験方法」に準じて行う。  
( 5 ) 吸水による長さ変化率試験は、試験体 ( 幅40mm×長さ160mm×素材厚さ ) を乾燥機に入れ、その温度を60±3 に保ち24時間経過した後取り出してJIS K 8123「塩化カルシウム ( 試薬 ) 」に規定する塩化カルシウム又は JIS K 1464「工業用乾燥剤」に規定する品質に適合するシリカゲルで調整したデシケーターに入れ、常温まで冷却する。次に、試験片の標線間隔が140mmになるように標線を引く。その後、1/150mm以上の精度をもつコンパレータを用いて標線間の長さを測定し、それを基準 ( L1 ) とする。次に試験片の長さ方向を水平にこぼしてし、その上端が水平下約30mmとなるように保持して、常温の水中に浸せきする。24時間経過した後、試験片を水中から取り出して湿布で表面に付着した水を拭き取り、再び標線間の長さ ( L2 ) を測る。  
吸水による長さ変化率 ( L ) は、次式によって求める。  
( L ) = ( L2 - L1 ) / L1×100 L : 吸水による長さ変化率 ( % )  
L1 : 乾燥時の標線間の長さ ( mm ) L2 : 吸水時の標線間の長さ ( mm )  
( 6 ) 耐凍結融解性能試験は、JIS A 5422「窯業系サイディング」の気中凍結水中融解法によって行う。100、200、300サイクル完了時の曲げ強度測定及び外観の状態を観察する。( 窯業系パネル 類は200サイクルまでとする。 )  
凍結融解操作の試験条件は、試験片の切断小口面をあらかじめシールし、5～35 の清水中に24時間浸せきさせた後、凍結融解試験装置の槽内に設置し、-20±3 の気中で約2時間の凍結20±3 の水中で約1時間の融解を行う約3時間を1サイクルとする。  
( 7 ) 耐衝撃性能試験は、JIS A 1408「建築用ボード類の曲げ及び衝撃試験方法」の衝撃試験に準じて行う。試験体の支持装置は、記号S 2 対辺単純支持方法による。  
試験体の大きさは、4号 ( 長さ400mm、幅300mm ) とする。おもりは、鋼製のなす形おもりとし、記号 ( W 1 - 1000 ) 、質量1,000gとする。試験体を支持装置で支持して、堅固な床に水水平に置き、おもりを試験体のほぼ中央の鉛直上1.0mから試験体の弱点部に自然落下させ、裏面に達する穴の「有・無」を確認する。金属複合板の残留変形量は、最大くばみ深さを測定する。

屋根露出防水 防水層の種類

工法	種別	施工箇所	断熱材	仕上塗料	高日射反射率の防水	備考
				種類 使用量		
・ M4C	・ C-1 ・ C-2 ・ C-3 ・ C-4				・ 適用する 製造所の仕様	
・ M3D ・ P0D	・ D-1 ・ D-2				・ 適用する 製造所の仕様	・ 脱気装置 ・ 設ける ・ 設けない 改修用ドレン ・ 設ける ・ 設けない
・ P0DI ・ M3DI ・ M4DI	・ DI-1 ・ DI-2		JIS A 9621( 建築用断熱材 ) に基づく発泡プラスチック断熱材 ( 種類 ) 硬質ウレタンフォーム断熱材 2 種 2 号 ( 厚さ ) ( mm ) 25 ・ 50		・ 適用する 製造所の仕様	・ 脱気装置 ・ 設ける ・ 設けない 改修用ドレン ・ 設ける ・ 設けない

改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ  
改修標準仕様書表3.3.7から表3.3.9による  
・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ  
用途による区分 R種  
材料構成による区分 R種  
厚さ ( mm以上 )

部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ  
改修標準仕様書表3.3.8から表3.3.9による  
・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ  
用途による区分 R種  
材料構成による区分 R種  
厚さ ( mm以上 )

脱気装置の種類 アスファルトルーフィング類の製造所の指定 ・  
脱気装置の設置数量 アスファルトルーフィング類の製造所の指定 ・ ( 個 )

屋根露出防水絶縁断熱工法の場合の、ルーフトレンドリ回り及び立上り部周辺の断熱材の張りじまい位置 図示

屋内防水

工法	種別	施工場所	保護層
・ P 1 E ・ P 2 E	・ E - 1 ・ E - 2		・ 設ける ・ 設けない

E - 1 の場合で工程 3 を行う部位 ( 貯水槽、浴槽等常時水に接する部位 ・ )  
保護層 ・ 設ける ( 図示 ・ )  
立上り部の押え金物の材質、形状及び寸法  
アルミニウム製 L-30×15×2.0mm程度  
屋上排水溝 図示 ・

5

改質アスファルトシート防水

屋根露出防水  
防水層の種類

[ 3.4.2、3 ]

工法

種別

施工箇所

断熱材

仕上塗料

高日射反射率の防水

備考

・ M4AS  
・ AS-T1  
・ AS-T2  
・ AS-J2

・ 適用する  
製造所の仕様

・ M3AS  
・ AS-T3  
・ AS-T4  
・ POAS  
・ AS-J1  
・ AS-J3

・ 適用する  
製造所の仕様

脱気装置  
・ 設ける  
・ 設けない  
改修用ドレン  
・ 設ける  
・ 設けない

・ M3ASI  
・ M4ASI  
・ POASI

・ ASI-T1  
・ ASI-J1

JIS A 9621( 建築用断熱材 ) に基づく発泡プラスチック断熱材 ( 種類 )  
硬質ウレタンフォーム断熱材 2 種 2 号  
( 厚さ )  
25 mm  
・ 50 mm

・ 適用する  
製造所の仕様

脱気装置  
・ 設ける  
・ 設けない  
改修用ドレン  
・ 設ける  
・ 設けない

改質アスファルトシートの種類及び厚さ  
改修標準仕様書表3.4.1から表3.4.3による  
・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ  
用途による区分 R種  
材料構成による区分 R種  
厚さ ( mm以上 )

粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ  
改修標準仕様書表3.4.1から表3.4.3による  
・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ  
用途による区分 R種  
材料構成による区分 R種  
厚さ ( mm以上 )

部分粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ  
改修標準仕様書表3.4.1から表3.4.3による  
・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ  
用途による区分 R種  
材料構成による区分 R種  
厚さ ( mm以上 )

脱気装置の種類 改質アスファルトシートの製造所の指定 ・  
脱気装置の設置数量 改質アスファルトシートの製造所の指定 ・ ( 個 )

立上り部の押え金物の材質、形状及び寸法  
アルミニウム製 L-30×15×2.0mm程度

絶縁断熱工法の防水湿シート  
・ 設置する  
・ 設置しない

防水層の種類 ・ 図示

[ 3.5.2～4 ] [ 表 3.5.1～3 ]

工法	種別	施工箇所	断熱材	仕上塗料	高日射反射率の防水	備考
				種類 使用量		
・ POS ・ S4S	・ S-F1				・ 適用する 製造所の仕様	・ 脱気装置 ・ 設ける ・ 設けない 改修用ドレン ・ 設けない
	・ S-F2				・ 適用する 製造所の仕様	・ 設ける ・ 設けない
	・ S-M1				・ 適用する 製造所の仕様	・ 設ける ・ 設けない
	・ S-M2				・ 適用する	
・ S3S	・ S-F1				・ 適用する 製造所の仕様	・ 脱気装置 ・ 設ける ・ 設けない
	・ S-F2				・ 適用する 製造所の仕様	・ 設ける ・ 設けない
・ M4S	・ S-M1				・ 適用する 製造所の仕様	・ 脱気装置 ・ 設ける ・ 設けない
	・ S-M2				・ 適用する	
・ POSI ・ S3SI ・ S4SI ・ M4SI	・ SI-F1		改修標準仕様書3.5.2 (3)(I)(b)による ( 種類 ) 硬質ウレタンフォーム断熱材 2 種 2 号 ( 厚さ ) ( mm ) 25 ・ 50		・ 適用する 製造所の仕様	・ 脱気装置 ・ 設ける ・ 設けない 改修用ドレン ・ 設ける ・ 設けない
	・ SI-F2 ・ SI-M1		改修標準仕様書3.5.2 (3)(I)(a)による ( 種類 ) 硬質ウレタンフォーム断熱材 2 種 2 号 ( 厚さ ) ( mm ) 25 ・ 50		・ 適用する 製造所の仕様	・ 適用する
	・ SI-M2				・ 適用する	

S - F 1、S - M 1、S - F 2、S - M 2 の仕様  
非歩行用 ・ 軽歩行用  
S I - F 1、S I - F 2、S - M 1 及び S - M 2 における防湿用フィルムの設置  
設置しない ・ 設置する  
S I - M 2 の絶縁用シートの材質  
発泡ポリエチレンシート  
S - M 2 及び S I - M 2 の立上り部の工法  
接着工法 ( 立ち上がり面のシートの厚さ 1.5mm ・ ) ○ 機械的固定工法

7

塗膜防水

防水層の種類 ・ 図示

[ 3.6.2、3 ]

工法

種別

施工箇所

仕上塗料

高日射反射率の防水

備考

・ P 0 X

X - 1  
・ X - 2  
・ X - 1 H  
・ X - 2 H

2 成分形アクリルウレタン樹脂系  
・ ふっ素樹脂系  
・ アクリルシリコン樹脂系

主材料の製造所の仕様

・ 適用する  
製造所の仕様

脱気装置  
・ 設ける  
・ 設けない  
改修用ドレン  
・ 設ける  
・ 設けない

・ L 4 X

X - 1  
○ X - 2  
・ X - 1 H  
・ X - 2 H

コン樹脂系

主材料の製造所の仕様

・ 適用する  
製造所の仕様

脱気装置  
・ 設ける  
○ 設けない

・ P 1 Y

Y - 2

保護層  
・ 設ける  
・ 設けない

・ P 2 Y

Y - 2

保護層  
・ 設ける  
・ 設けない

X - 1 ( 絶縁工法 ) の脱気装置の種類 主材料の製造所の仕様 ・  
X - 1 ( 絶縁工法 ) の脱気装置の設置数量 主材料の製造所の仕様 ・ ( 個 )

8

シーリング

シーリング改修工法の種類  
・ シーリング充填工法  
○ シーリング再充填工法  
・ 拡張シーリング再充填工法  
・ プリッジ工法  
・ ボンドブローカー張り  
・ エッジング材張り

[ 3.7.2、3、3.7.7 ]

シーリング材の種類、施工箇所

下表以外は、改修標準仕様書表3.7.1による

施工箇所

シーリング材の種類 ( 記号 )

・ 打継部

○ 図示

○ その他図示による

○ 図示

仕上げを行わない施工箇所  
・ 図示による ・ 打継目地  
シーリング材の目地寸法 改修標準仕様書3.7.3(1)による  
接着性試験 簡易接着性試験 ・ 引張接着性試験

9

とい

といの材質  
・ 配管用鋼管  
・ 硬質ポリ塩化ビニル管 (VUカラー)  
・ ルーフドレン  
・ 表面処理鋼板 ( 表面及び裏面の塗膜の種類 ・ )  
・ 図示

[ 3.8.2、3 ]

ルーフトレンドレン

種別	施工箇所
・ ろく屋根用 ( ・ 縦型 ・ 横型 )	・ 図示
・ バルコニー用	・ 図示
・ バルコニー中継用	・ 図示

MEMO

( 縮小率：A2 = 100%，A3 = 70% )

有限会社 永井一級建築士事務所

広島県三次市甲奴町本郷650-8 T E L 0847-67-2472

広島県知事登録 ( 24(1)第3940号 ) F A X 0847-67-3808

図面名

建築工事特記仕様書 ( 2 )

縮尺

—

製作日

工事名

みよし運動公園出入口改修工事 設 計 図

1 級建築士 第111572号

永井秀昭

No. A - 3



<div> <div>外壁改修フロー及び数量</div> <div>・コンクリート打放し仕上り外壁の場合</div> <div> <div> <div>既存仕上げ材の処理範囲</div> <div>既存仕上げ面全体</div> <div>・図示</div> </div> <div> <div>外 壁 調 査 ( 施 工 数 量 調 査 )</div> </div> </div> <div> <div> <div>ひび割れ部改修</div> <div>欠損部改修</div> </div> <div> <div> <div>樹脂注入工法（注1）</div> <div> <div>A) 0.2以上0.3未満</div> <div>m</div> </div> <div> <div>A) 0.3以上0.5未満</div> <div>m</div> </div> <div> <div>A) 0.5以上1.0未満</div> <div>m</div> </div> <div> <div>B) 0.2以上0.3未満</div> <div>m</div> </div> <div> <div>C) 0.3以上0.5未満</div> <div>m</div> </div> <div> <div>C) 0.5以上1.0未満</div> <div>m</div> </div> </div> <div> <div> <div>Uカットシール</div> <div>材充填工法</div> <div>シール工法</div> </div> <div> <div>・図示</div> <div>m</div> <div>m</div> </div> </div> <div> <div> <div>充填工法</div> <div> <div>100×300×30mm</div> <div>程度</div> </div> <div>・図示</div> <div>ヶ所</div> </div> <div> <div> <div>錆鉄筋部補修工法</div> <div>(改修標準仕様書4.3.3(b))</div> <div>幅100mm程度</div> </div> <div>・図示</div> <div>m</div> </div> </div> </div> <div> <div>・数量は実施による</div> <div> <div>下地調整材の施工範囲</div> <div>既存仕上げ面全体</div> <div>・図示</div> </div> <div> <div>仕上塗材仕上り施工範囲</div> <div>既存仕上げ面全体</div> <div>・図示</div> </div> </div> <div> <div>・モルタル塗り仕上り外壁の場合</div> <div> <div>既存仕上げ材の処理範囲</div> <div>既存仕上げ面全体</div> <div>・図示</div> </div> <div> <div>外 壁 調 査 ( 施 工 数 量 調 査 )</div> </div> <div> <div> <div>ひび割れ部改修</div> <div>欠損部改修</div> <div>浮き部改修</div> </div> <div> <div>モルタル撤去</div> <div>・しない</div> <div>・する</div> </div> <div> <div> <div>アンカーピンニング注入工法</div> <div> <div>樹脂注入工法（注1）</div> <div> <div>A) 0.2以上0.3未満</div> <div>m</div> </div> <div> <div>A) 0.3以上1.0未満</div> <div>m</div> </div> <div> <div>A) 0.5以上1.0未満</div> <div>m</div> </div> <div> <div>B) 0.2以上0.3未満</div> <div>m</div> </div> <div> <div>C) 0.3以上0.5未満</div> <div>m</div> </div> <div> <div>C) 0.5以上1.0未満</div> <div>m</div> </div> </div> <div> <div> <div>Uカットシール</div> <div>材充填工法</div> <div>シール工法</div> </div> <div> <div>・図示</div> <div>m</div> <div>m</div> </div> </div> <div> <div> <div>充填工法</div> <div> <div>モルタル</div> <div>塗替え工法</div> </div> <div> <div>・図示</div> <div>m2</div> </div> </div> <div> <div> <div>モルタル</div> <div>塗替え工法</div> </div> <div> <div>・図示</div> <div>m2</div> </div> </div> <div> <div> <div>(工法名)</div> <div>エポキシ樹脂注入工法</div> </div> <div> <div>・図示</div> <div>m2</div> </div> </div> <div> <div>一般部分</div> <div>m2</div> </div> <div> <div>指定部分</div> <div>m2</div> </div> </div> </div> <div> <div>・数量は実施による</div> <div> <div>下地調整材の施工範囲</div> <div>既存仕上げ面全体</div> <div>・図示</div> </div> <div> <div>仕上塗材仕上り施工範囲</div> <div>既存仕上げ面全体</div> <div>・図示</div> </div> </div> <div> <div>・タイル張り仕上り外壁の場合</div> <div> <div>外 壁 調 査 ( 施 工 数 量 調 査 )</div> </div> <div> <div> <div>ひび割れ部改修</div> <div>欠損部改修</div> <div>浮き部改修</div> <div>目地改修</div> </div> <div> <div>タイル撤去</div> <div>・する</div> <div>・しない</div> </div> <div> <div> <div>アンカーピンニング注入工法</div> <div> <div>樹脂注入工法（注1）</div> <div> <div>A) 0.2以上0.3未満</div> <div>0mm</div> </div> <div> <div>A) 0.3以上0.5未満</div> <div>0mm</div> </div> <div> <div>A) 0.5以上1.0未満</div> <div>0mm</div> </div> <div> <div>B) 0.2以上0.3未満</div> <div>0mm</div> </div> <div> <div>C) 0.3以上0.5未満</div> <div>0mm</div> </div> <div> <div>C) 0.5以上1.0未満</div> <div>0mm</div> </div> </div> <div> <div> <div>Uカットシール</div> <div>材充填工法</div> <div>タイル部分</div> <div>張替工法</div> </div> <div> <div>0mm</div> <div>0mm2</div> <div>0mm2</div> </div> </div> <div> <div> <div>タイル張替</div> <div>工法</div> </div> <div> <div>0mm2</div> <div>0mm2</div> </div> </div> <div> <div> <div>(工法名)</div> <div>エポキシ樹脂注入工法</div> </div> <div> <div>0mm2</div> <div>0mm2</div> </div> </div> <div> <div>一般部分</div> <div>mm×mm</div> </div> <div> <div>指定部分</div> <div>mm×mm</div> </div> <div> <div>目地ひび割れ</div> <div>改修</div> <div>0mm</div> </div> <div> <div>伸縮目地改修</div> <div>0mm</div> </div> </div> </div> </div> <div> <div>(注1) 4-2.1、4-3.1及び4-4.2のひび割れ部改修工法における樹脂注入工法の種類を示す</div> <div>A) 自動式低圧エポキシ樹脂注入工法、B) 手動式エポキシ樹脂注入工法、C) 機械式エポキシ樹脂注入工法</div> </div> </div></div></div></div></div></div>		<div> <div>6</div> <div>網戸等</div> <div> <div> <div>種類</div> <div>材質</div> <div>線径</div> <div>網目</div> </div> <div> <div>・防虫網</div> <div>合成樹脂製</div> <div>・ガラス繊維入り合成樹脂製</div> <div>・ステンレス ( SUS316 ) 製</div> </div> <div> <div>・防鳥網</div> <div>ステンレス ( SUS304 ) 線材</div> <div>1.5mm</div> <div>網目寸法15mm</div> </div> </div> <div> <div>5.2.3][5.3.3]</div> </div> </div>			<div> <div>2)レバーハンドルのねじり強度試験 (3.5KN・cm) を行なった後、トルクを除いたとき、ハンドルが正常に作動していること。また、施設時ハンドルが固定される錠は、施設状態が維持され、かつ、施設操作に支障がない。</div> <div>3)握り玉のねじり強度試験 (3KN・cm) を行なった後、トルクを除いたとき、握り玉が正常に作動していること。また、施設時握り玉が固定される錠は、施設状態が維持され、かつ、施設操作に支障がない。</div> <div>4)ハンドルの引張強度試験 (2KN) を行い、荷重を除いたとき、ハンドルが正常に作動していること。また、施設時ハンドルが固定される錠は、施設状態が維持され、かつ、施設操作に支障がない。</div> <div>5)ハンドルの垂直荷重強度試験 (2KN) を行い、荷重を除いたとき、ハンドルが正常に作動していること。また、施設時ハンドルが固定される錠は、施設状態が維持され、かつ、施設操作に支障がない。</div> <div>&lt;鍵&gt;</div> <div>1)かぎ (鍵) 数は、1.5万以上とする。ただし、異なるキーウェイ形状であっても、共通のキーセクションが存在する場合は、有効かぎ (鍵) 違い数とみなさないものとする。</div> <div>2)同一タンブラーの使用数は、60%以下とする。また、6本タンブラーにおいては、キーの同一かぎは、最大2連続までとしていること。</div> <div>試験方法は、JIS A 1541-1 (建築金物・錠・第1部：試験方法) による。</div> </div>		<div> <div>7</div> <div>樹脂製建具</div> <div> <div> <div>性能値等</div> <div>・耐風圧性の等級 ( )、気密性の等級 ( )、水密性の等級 ( )</div> <div>改修標準仕様書5.3.1による種別</div> <div>外部に面する建具</div> <div>・A種 (建具符号：・全て・建具表による・)</div> <div>・B種 (建具符号：・全て・建具表による・)</div> <div>・C種 (建具符号：・全て・建具表による・)</div> </div> <div> <div>防音ドア、防音サッシの遮音性の等級 (・T-1・T-2 (建具符号：・建具表による・)</div> <div>断熱ドア、断熱サッシの断熱性の等級 (・H-4・H-5・H-6・H-7・H-8 (建具符号：・建具表による・)</div> <div>外部に面する建具の日射熱取得性の等級</div> </div> <div> <div>形状及び仕上</div> <div>種の見込み寸法</div> <div>建具表による</div> <div>表面色</div> <div>標準色</div> <div>・特注色</div> </div> <div> <div>取付工法</div> <div>水切り板、ぜん板</div> <div>図示</div> <div>木下地の場合の内付け建具</div> <div>・適用しない</div> <div>・適用する</div> </div> </div> </div>		<div> <div>8</div> <div>鋼製建具</div> <div> <div> <div>ガラス</div> <div>複層ガラス</div> </div> <div> <div>5.2.2][5.4.2-4][表5.4.2]</div> </div> <div> <div>性能値等 (建具符号：・建具表による・)</div> <div>簡易気密型ドアセット</div> <div>気密性の等級 (・A-3)</div> <div>水密性の等級 (・W-1)</div> <div>外部に面する面する建具の耐風圧性 (・S-4・S-5・S-6)</div> <div>防音ドア、防音サッシ</div> <div>遮音性の等級 ( )</div> <div>断熱ドア、断熱サッシ</div> <div>断熱性の等級 ( )</div> <div>耐震ドア</div> <div>面内変形追従性の等級 ( )</div> </div> <div> <div>耐震性能</div> <div>建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による</div> <div>ステンレス鋼板の材料</div> <div>SUS304、SUS430J1L又はSUS443J1</div> <div>形状及び仕上</div> <div>鋼板類の厚さ</div> <div>改修標準仕様書5.4.2による</div> <div>使用箇所 ( )</div> <div>標準型鋼製建具の形状及び寸法</div> <div>建具表による</div> </div> <div> <div>性能値等 (建具符号：・建具表による・)</div> <div>簡易気密型ドアセット</div> <div>・適用する</div> <div>防音ドア、防音サッシ</div> <div>遮音性の等級 (・図示)</div> <div>断熱ドア、断熱サッシ</div> <div>断熱性の等級 ( )</div> <div>耐震ドア</div> <div>面内変形追従性の等級 ( )</div> </div> <div> <div>耐震性能</div> <div>建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による</div> <div>鋼板の材料</div> <div>亜鉛めっき鋼板・ビニル被覆鋼板・カラー鋼板・ステンレス鋼板</div> <div>ステンレス鋼板の材料</div> <div>SUS304、SUS430J1L又はSUS443J1</div> <div>形状及び仕上</div> <div>鋼板類の厚さ</div> <div>改修標準仕様書5.5.1による</div> <div>使用箇所 ( )</div> <div>召合せ、假小口包み板の材質</div> <div>鋼板</div> <div>標準型鋼製建具の形状及び寸法</div> <div>建具表による</div> </div> <div> <div>性能値等 (建具符号：○建具表による・)</div> <div>簡易気密型ドアセット</div> <div>・適用する</div> <div>外部に面する面する建具の耐風圧性 (○S-4・S-5・S-6)</div> <div>防音ドア、防音サッシ</div> <div>遮音性の等級 ( )</div> <div>断熱ドア、断熱サッシ</div> <div>断熱性の等級 ( )</div> <div>耐震ドア</div> <div>面内変形追従性の等級 ( )</div> </div> <div> <div>耐震性能</div> <div>建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による</div> <div>ステンレス鋼板の材料</div> <div>SUS304、SUS430J1L又はSUS443J1</div> <div>形状及び仕上</div> <div>鋼板類の厚さ</div> <div>改修標準仕様書5.5.1による</div> <div>使用箇所 ( )</div> <div>召合せ、假小口包み板の材質</div> <div>鋼板</div> <div>標準型鋼製建具の形状及び寸法</div> <div>建具表による</div> </div> <div> <div>性能値等 (建具符号：○建具表による・)</div> <div>簡易気密型ドアセット</div> <div>・適用する</div> <div>外部に面する面する建具の耐風圧性 (○S-4・S-5・S-6)</div> <div>防音ドア、防音サッシ</div> <div>遮音性の等級 ( )</div> <div>断熱ドア、断熱サッシ</div> <div>断熱性の等級 ( )</div> <div>耐震ドア</div> <div>面内変形追従性の等級 ( )</div> </div> </div> </div>		<div> <div>9</div> <div>鋼製軽量建具</div> <div> <div> <div>性能値等 (建具符号：○建具表による・)</div> <div>簡易気密型ドアセット</div> <div>・適用する</div> <div>外部に面する面する建具の耐風圧性 (○S-4・S-5・S-6)</div> <div>防音ドア、防音サッシ</div> <div>遮音性の等級 ( )</div> <div>断熱ドア、断熱サッシ</div> <div>断熱性の等級 ( )</div> <div>耐震ドア</div> <div>面内変形追従性の等級 ( )</div> </div> <div> <div>耐震性能</div> <div>建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による</div> <div>ステンレス鋼板の材料</div> <div>SUS304、SUS430J1L又はSUS443J1</div> <div>形状及び仕上</div> <div>鋼板類の厚さ</div> <div>改修標準仕様書5.5.1による</div> <div>使用箇所 ( )</div> <div>召合せ、假小口包み板の材質</div> <div>鋼板</div> <div>標準型鋼製建具の形状及び寸法</div> <div>建具表による</div> </div> <div> <div>性能値等 (建具符号：○建具表による・)</div> <div>簡易気密型ドアセット</div> <div>・適用する</div> <div>外部に面する面する建具の耐風圧性 (○S-4・S-5・S-6)</div> <div>防音ドア、防音サッシ</div> <div>遮音性の等級 ( )</div> <div>断熱ドア、断熱サッシ</div> <div>断熱性の等級 ( )</div> <div>耐震ドア</div> <div>面内変形追従性の等級 ( )</div> </div> </div> </div>		<div> <div>10</div> <div>ステンレス製建具</div> <div> <div> <div>性能値等 (建具符号：○建具表による・)</div> <div>簡易気密型ドアセット</div> <div>・適用する</div> <div>外部に面する面する建具の耐風圧性 (○S-4・S-5・S-6)</div> <div>防音ドア、防音サッシ</div> <div>遮音性の等級 ( )</div> <div>断熱ドア、断熱サッシ</div> <div>断熱性の等級 ( )</div> <div>耐震ドア</div> <div>面内変形追従性の等級 ( )</div> </div> <div> <div>耐震性能</div> <div>建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による</div> <div>ステンレス鋼板の材料</div> <div>SUS304、SUS430J1L又はSUS443J1</div> <div>形状及び仕上</div> <div>鋼板類の厚さ</div> <div>改修標準仕様書5.5.1による</div> <div>使用箇所 ( )</div> <div>召合せ、假小口包み板の材質</div> <div>鋼板</div> <div>標準型鋼製建具の形状及び寸法</div> <div>建具表による</div> </div> <div> <div>性能値等 (建具符号：○建具表による・)</div> <div>簡易気密型ドアセット</div> <div>・適用する</div> <div>外部に面する面する建具の耐風圧性 (○S-4・S-5・S-6)</div> <div>防音ドア、防音サッシ</div> <div>遮音性の等級 ( )</div> <div>断熱ドア、断熱サッシ</div> <div>断熱性の等級 ( )</div> <div>耐震ドア</div> <div>面内変形追従性の等級 ( )</div> </div> </div> </div>		<div> <div>11</div> <div>建具用金物</div> <div> <div> <div>全物の種類及び見え掛り部の材質等</div> <div>○取替錠はM仕様とする</div> <div>改修標準仕様書5.7.1及び適用は建具表による</div> </div> <div> <div>金製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ</div> <div>改修標準仕様書5.8.2による</div> <div>樹脂製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ</div> <div>標準仕様書5.8.3による</div> <div>木製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ</div> <div>標準仕様書5.8.4による</div> <div>木製建具に使用する戸革及びレール</div> <div>標準仕様書5.8.5による</div> <div>握り玉及びレバーハンドル、押板類、クレセントの取付け位置</div> <div>建具表による</div> </div> <div> <div>錠前類</div> <div>【シリンダ箱錠及びシリンダ本締めり錠】</div> <div>(品質)</div> <div>デッドボルトの出寸法は17mm以上とする。建付きのものはマスターキー、グラッドマスターキー、コンストラクションキーなどのキーステムが構築できるものとする。</div> <div>(性能)</div> <div>&lt;使用頻度による性能&gt;</div> <div>1) (シリンダ箱錠のみ) ラッチボルトの開閉繰り返し試験 (40万回) を行なった後、ハンドルでの開閉操作力及びラッチング力が試験前の2倍未満であり、動作に支障がない。</div> <div>2) キーによるデッドボルトの施設錠繰り返し試験 (10万回) を行なった後、試験前の回転トルクの2倍未満であり、施設操作に支障がない。(シリンダ本締めり錠のみ) シリンダ単体の施設錠繰り返し試験の評価は、シリンダだけの回転トルクが10N・cm以下とする。</div> <div>3) キーによる施設機構の施設錠繰り返し試験 (10万回) を行なった後、試験前の回転トルクの2倍未満であり、施設操作に支障がない。</div> <div>4) キーの抜き差し繰り返し試験 (10万回) を行なった後、キーの抜き差しに要する荷重は10N以下である。また、未使用の合鍵でシリンダが回転でき、かつ、1箇所1段差浅い刻みをもつ異なるキーでは、シリンダが回転しないこと。(キーに加えるトルクは、150N・cmとする)</div> <div>&lt;外力に対する性能&gt;</div> <div>1) デッドボルトの押込み強度試験 (10KN) を行なった後、荷重を除いたときのデッドボルトの出寸法は8mm以上であること。</div> <div>2) デッドボルトの側圧強度試験 (10KN) を行なった際、加圧板がデッドボルトを通過しない。</div> <div>3) デッドボルトの押込み強度 (衝撃荷重) (58.8J) の衝撃荷重を加えたとき、解錠状態 (デッドボルトの突出量が8mm未満) にならないこと。</div> <div>4) デッドボルトの側圧強度 (衝撃荷重) 試験 (58.8J) の衝撃荷重を加えたとき、解錠状態 (加圧板がデッドボルトを通過した状態) にならないこと。</div> <div>5) (シリンダ本締めり錠はグレード3以上の彫込錠の場合) ストライクプレートの厚さ1.5mm以上のステンレス鋼製とし、トロヨケは厚さ1.6mm以上の鋼製の一体絞りとする。又はストライクの強度と同等以上の強度をもつものとする。</div> <div>&lt;使用頻度の質量に対する性能 (シリンダ箱錠のみ)&gt;</div> <div>1) ラッチボルトの側圧強度試験 (4KN) を行い、荷重を除いたとき、ハンドル操作及びラッチングに支障がない。</div> </div> </div> </div>		<div> <div>12</div> <div>鍵</div> <div> <div> <div>マスターキー</div> <div>製作する (組)</div> <div>○製作しない</div> <div>・既存に組込む</div> </div> <div> <div>鍵の製作本数</div> <div>各室3本1組 (室名札付き)</div> </div> <div> <div>鍵箱</div> <div>・設ける (個用組)</div> <div>○設けない</div> </div> </div> </div>		<div> <div>13</div> <div>自動ドア開閉装置</div> <div> <div> <div>引き戸用駆動装置</div> <div>性能値</div> <div>改修標準仕様書6.8.1による</div> <div>種類</div> <div>・SSLD-1</div> <div>・SSLD-2</div> <div>・DSL-D-1</div> <div>・DSL-D-2</div> </div> </div> </div>		<div> <div>14</div> <div>自閉式上吊り引戸装置</div> <div> <div> <div>性能値等</div> <div>標準仕様書6.5.10.1による</div> <div>(試験方法)</div> <div>(1) 耐久性 (開閉繰り返し) 試験</div> <div>閉については外力によらず、試験体の自閉装置及び制御装置のみにより戸を開端位置から開端位置までの動作を確認できる試験を行う。同試験に用いる試験体は片引戸とし、開口内法有効高さ2,000mm、幅は最大寸法とする。適用戸総質量の区分毎に試験を行う。自閉装置、制御装置は10万回以上の時点で1回のみ調整を行えるものとし、また、その他の制御装置についてはメーカーの耐久性試験成績書において2万回以上の耐久性を確認することで、試験に代えることができるものとする。</div> <div>(2) 耐衝撃性試験</div> <div>落下高さ17cmにて、ドアの中央部にドアが外れる方向に衝撃を与える。</div> <div>耐衝撃性試験に用いる試験体は片引戸、開口内法有効寸法は高さ2,000mm、幅300mmとする。</div> <div>(3) 気密性試験</div> <div>JIS A 1516「建具の気密性試験方法」による。</div> </div> </div> </div>		<div> <div>15</div> <div>重量シャッター</div> <div> <div> <div>シャッターの種類</div> <div>・管理用シャッター</div> <div>・外壁用防火シャッター</div> <div>・屋内用防火シャッター</div> <div>・防煙シャッター</div> </div> <div> <div>外壁開口部に設ける重量シャッターの耐風圧強度 ( ) Pa</div> <div>開閉方式の種類</div> <div>上部電動式 (手動併用)</div> <div>・上部手動式</div> </div> <div> <div>安全装置</div> <div>急降下制動装置、急降下停止装置を設けた電動シャッターの設置箇所</div> <div>図示</div> </div> <div> <div>障害物感知装置を設けた電動シャッターの設置箇所</div> <div>図示</div> </div> <div> <div>屋内用防火シャッター若しくは防煙シャッターの危害防止機構の設置箇所</div> <div>「防火区画に用いる防火設備等の構造方法を定める件」(昭和48年12月28日建設省告示第2563号) に定める基準に適合するもの</div> </div> <div> <div>管理用シャッターのシャッターケース</div> <div>・設ける</div> <div>・設けない</div> </div> <div> <div>スラット及びシャッターケース用鋼板</div> <div>鋼板の種類</div> <div>JIS G 3302 (溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯)</div> <div>・JIS G 3312 (塗装溶融亜鉛めっき及び鋼帯)</div> <div>めっきの付着量</div> <div>Z12又はF12を満足するもの</div> </div> <div> <div>ガイドレール、くまき、雨垂りに用いる座板及び座板のカバー、雨垂りに用いるスイッチボックス類の材質</div> <div>ステンレス鋼板の材料</div> <div>SUS304、SUS430J1L又はSUS443J1</div> </div> </div> </div>		<div> <div>16</div> <div>軽量シャッター</div> <div> <div> <div>開閉方式の種類</div> <div>手動式</div> <div>・上部電動式 (手動併用)</div> </div> <div> <div>耐風圧強度 ( ) N/m2</div> <div>障害物感知装置を設けた電動シャッターの設置箇所</div> <div>図示</div> </div> <div> <div>スラットの材質の種類</div> <div>JIS G 3312 (塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯)</div> <div>めっきの付着量 ( Z06 又はF06を満足するもの )</div> <div>・JIS G 3312 (塗装溶融5.5%アルミニウム亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯)</div> <div>めっきの付着量 ( A290を満足するもの )</div> </div> <div> <div>スラットの形状</div> <div>インターロッキング形</div> <div>・オーバーラッピング形</div> </div> <div> <div>シャッターケース</div> <div>設ける</div> <div>・設けない</div> </div> <div> <div>ガイドレール (中柱材) の材質</div> <div>ステンレス鋼板 (SUS304)</div> <div>厚さ1.0mm</div> </div> </div> </div>		<div> <div>17</div> <div>オーバーヘッドドア</div> <div> <div> <div>セクション材料</div> <div>による区分</div> <div>耐風圧性能</div> <div>による区分</div> <div>開閉方式</div> <div>による区分</div> <div>収納方式</div> <div>による区分</div> <div>ガイドレールの材料</div> </div> <div> <div>スチールタイプ</div> <div>・175</div> <div>・125</div> <div>・100</div> <div>・75</div> </div> <div> <div>・アルミニウムタイプ</div> <div>・175</div> <div>・125</div> <div>・100</div> <div>・75</div> </div> <div> <div>・ファイバーグラスタイプ</div> <div>・175</div> <div>・125</div> <div>・100</div> <div>・75</div> </div> <div> <div>・スタンダード形</div> <div>・ローヘッド形</div> <div>・ハイリフト形</div> <div>・バーカル形</div> </div> <div> <div>溶融亜鉛</div> <div>・ステンレス鋼板</div> </div> </div> </div>		<div> <div>18</div> <div>木製建具</div> <div> <div> <div>電動式タイプで障害物感知装置を設ける箇所</div> <div>図示</div> </div> <div> <div>建具材の加工、組立時の含水率</div> <div>A種</div> <div>・建物内部の木製建具に使用する表面材及び接着剤のホルムアルデヒド放散量</div> <div>F</div> <div>・フラッシュ戸</div> <div>表面材のホルムアルデヒド放散量等</div> <div>標準仕様書16.7.2)(f)(a)による</div> </div> <div> <div>表面材の合板の種類</div> <div>合板の種類</div> <div>規格等</div> <div>備考</div> </div> <div> <div>・普通合板</div> <div>表面の樹種</div> <div>生地、透明塗料塗り ( ラウソク合板程度 )</div> <div>・図示</div> <div>不透明塗料塗り ( 似た合板程度 )</div> <div>・図示</div> <div>板面の品質 ( ・広葉樹1等 )</div> <div>・図示</div> <div>接着の程度 ( ・1類 )</div> <div>・2類 )</div> </div> <div> <div>・天然木化粧合板</div> <div>樹種等 ( )</div> <div>接着の程度 ( ・1類 )</div> <div>・2類 )</div> </div> <div> <div>・特殊加工化粧合板</div> <div>化粧加工の方法</div> <div>・図示</div> <div>( ・オーバーレイ )</div> <div>・プリント</div> <div>・塗装</div> <div>表面性能 ( ) タイプ</div> <div>接着の程度 ( ・1類 )</div> <div>・2類 )</div> </div> <div> <div>・ミディアムデンシティファイバーボード ( MDF )</div> <div>表面の状況による区分 ( )</div> <div>曲げ強さによる区分 ( )</div> <div>接着剤による区分 ( )</div> <div>難燃性による区分 ( )</div> </div> <div> <div>表面材の厚さ</div> <div>改修標準仕様書6.7.6による</div> <div>引戸の召合せかまちのいるう付きの適用</div> <div>・適用する</div> <div>・適用しない</div> <div>・かまち戸</div> <div>・かまち樹種 ( )</div> <div>・鏡板樹種 ( )</div> <div>見込み寸法</div> <div>建具表による</div> </div> </div> </div>		<div> <div>MEMO</div> <div>(縮小率：A2=100%，A3=70%)</div> </div>		<div> <div>有限会社 永井一級建築士事務所</div> <div>広島県三次市甲奴町本郷650-8</div> <div>T E L 0847-67-2472</div> <div>広島県知事登録 ( 24(1)第3940号 )</div> <div>F A X 0847-67-3808</div> </div>	<div> <div>図面名</div> <div>建築工事特記仕様書 (3)</div> </div>	<div> <div>縮尺</div> <div>—</div> </div>	<div> <div>製作日</div> <div></div> </div>	<div> <div>工事名</div> <div>みよし運動公園出入口改修工事 設 計 図</div> </div>	<div> <div>1級建築士</div> <div>第111572号</div> </div>	<div> <div>永井秀昭</div> </div>	<div> <div>No.</div> <div>A</div> <div>-</div> <div>4</div> </div>
---	--	---	--	--	---	--	--	--	---	--	---	--	--	--	---	--	---	--	--	--	--	--	--	--	---	--	---	--	---	--	--	--	--	--	---	---	---	---	------------------------------	--

19

ガラス

○ ふすま

張りの種類（ ・ 型 ・ 型 ）

上張り（押入等の裏面以外） ・ 鳥の子 ○ 新鳥の子又はビニル紙程度

縁仕上げ ・ 塗り縁 ・ 生地縁（素地） ・ 生地縁（ウレタンクリアー塗装）

見込み寸法 建具表による ・

・ 戸ぶすま 見込み寸法 建具表による ・

・ 紙張り障子 見込み寸法 建具表による ・

枠の材料 木製枠（6畳内装改修工事による）

・ 鋼製枠（ 垂釣めつて鋼板 ・ ビニル被覆鋼板 ・ カラー鋼板 ・ ステンレス鋼板）

くつずりの材料 ・ ステンレス鋼板 ・ 木製（ 3.7、5.13、2.4 ）（図5.14.1）

下記のガラス以外の品種、厚さの呼びによる種類等

建具表による

合わせガラスの材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに合わせガラスの合計厚さ及び特性による種類

下記以外は建具表による

材料板ガラスの種類、組合せ	落球衝撃はく離特性並びにショットバック衝撃特性による種類
---------------	------------------------------

○ フロート板、フロート板合わせガラス

・ 類	・ 1類
・ 2類	・ 類

強化ガラスの形状による種類、材料板ガラスの種類による名称及び特性による種類

下記以外は建具表による

材料板ガラスによる名称	材料板ガラス	破片の状態で及びにショットバック衝撃特性による種類
-------------	--------	---------------------------

○ フロート強化ガラス

○ フロート板ガラス	・ 類	・ 類
------------	-----	-----

熱線吸収ガラスの板ガラスによる種類、厚さによる種類及び性能による種類

下記以外は建具表による

材料板ガラスによる種類	性能による種類	色 調
・ 熱線吸収フロート板ガラス	・ 1類 ・ 2類	・ グリーン
・ 熱線吸収網入り磨きガラス		

複層ガラスの材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに複層ガラスの厚さ

下記以外は建具表による ・ AGC（株）サンバランスのメーカー仕様に準ずる

断熱性による区分	乾燥気体の種類
・ T1 ・ T2 ・ T3 ・ T4 ・ T5 ・ T6	・ 空気 ・ アルゴン

日射取得性、日射遮蔽性による区分	乾燥気体の種類
・ G ・ S	・ 空気 ・ アルゴン

熱線反射ガラスの材料板ガラスの種類及び厚さによる種類

下記以外は建具表による ・ AGC（株）サンバランスのメーカー仕様に準ずる

材料板ガラスによる種類	日射熱遮蔽性による区分	耐久性による区分
・ 1類	・ 2類	・ A類
・ 2類	・ 3類	・ A類 ・ B類
・ 3類		・ B類

反射皮膜面 ・ 内面 ・ 外面

映像調整 ・ 行わない ・ 行う

ガラスの留め材及び溝の大きさ

建具の種類	ガラス留め材	ガラス溝の大きさ（mm）
アルミニウム製	シーリング材 ・ ガスケット ・ グレージングチャンネル形	建具の製造所の仕様による
鋼製及び鋼製軽量	シーリング材	建具の製造所の仕様による
ステンレス製	シーリング材	建具の製造所の仕様による
樹脂製	シーリング材 ・ ガスケット ・ グレージングチャンネル形	建具の製造所の仕様による

耐震性能

建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による

表面形状	呼び寸法（mm）	厚さ（mm）	色調	目地幅（mm）	伸縮調整目地位置（mm）	防火性能
・ 正方形	・ 160×160	・ 95 ・ 125	・ クリア	・ 乳白	・ 8～15 ・ 6mm以下 ・ 標準仕様書5.14.5(2)(9)(a)	・ 無し ・ 有り
	・ 200×200	・ 95 ・ 125			・ 内側 ・ 標準仕様書5.14.5(2)(9)(a)	

壁用金属材料及び補強材の材質・形状 図示

力骨 材質 ステンレス鋼（SUS304）

寸法 径5.5mm

形状 はしご形状補筋及び単筋

化粧目地モルタルの色（ ）

シーリングの種類（ ）

金属化粧板カバー 材質 ・ ステンレス製 ・ アルミニウム製

寸法 図示

形状 図示

工法 1層 適用区分による風圧力の（ ・ 1 ・ 1.15 ・ 1.3 ）倍の風圧力に対応した工法

目地部の横力骨の納まり

ガラスブロック製造所の仕様による ・ 図示（目隠し用）

20

ガラスブロック積み

⑤

内装改修工事

①

他の部位との取り合い等

②

既存壁の除去及び下地補修

3

既存壁の除去及び下地補修

4

製材

5

造作用集成材

6

造作用平板補修材

7

合板等

8

接合具等

9

防腐・防蟻処理

10

内部断仕切り輪及び床組み

11

窓、出入口その他

12

床板張り

13

壁及び天井下地

14

軽量鉄骨天井下地

15

軽量鉄骨壁下地

16

ビニル床シート

17

ビニル床タイル

18

接着剤

19

ビニル幅木

20

ゴム床タイル

21

カーペット敷き

22

タイルカーペット

23

タイルカーペット

24

タイルカーペット

25

タイルカーペット

26

タイルカーペット

27

タイルカーペット

28

タイルカーペット

29

タイルカーペット

30

タイルカーペット

31

タイルカーペット

32

タイルカーペット

33

タイルカーペット

34

タイルカーペット

35

タイルカーペット

36

タイルカーペット

37

タイルカーペット

38

タイルカーペット

39

タイルカーペット

40

タイルカーペット

41

タイルカーペット

42

タイルカーペット

43

タイルカーペット

44

タイルカーペット

45

タイルカーペット

46

タイルカーペット

47

タイルカーペット

48

タイルカーペット

49

タイルカーペット

50

タイルカーペット

51

タイルカーペット

52

タイルカーペット

53

タイルカーペット

54

タイルカーペット

55

タイルカーペット

56

タイルカーペット

57

タイルカーペット

58

タイルカーペット

59

タイルカーペット

60

タイルカーペット

61

タイルカーペット

62

タイルカーペット

63

タイルカーペット

64

タイルカーペット

65

タイルカーペット

66

タイルカーペット

67

タイルカーペット

68

タイルカーペット

69

タイルカーペット

70

タイルカーペット

71

タイルカーペット

72

タイルカーペット

73

タイルカーペット

74

タイルカーペット

75

タイルカーペット

76

タイルカーペット

77

タイルカーペット

78

タイルカーペット

79

タイルカーペット

80

タイルカーペット

81

タイルカーペット

82

タイルカーペット

83

タイルカーペット

84

タイルカーペット

85

タイルカーペット

86

タイルカーペット

87

タイルカーペット

88

タイルカーペット

89

タイルカーペット

90

タイルカーペット

91

タイルカーペット

92

タイルカーペット

93

タイルカーペット

94

タイルカーペット

95

タイルカーペット

96

タイルカーペット

97

タイルカーペット

98


タイルカーペット

99

タイルカーペット

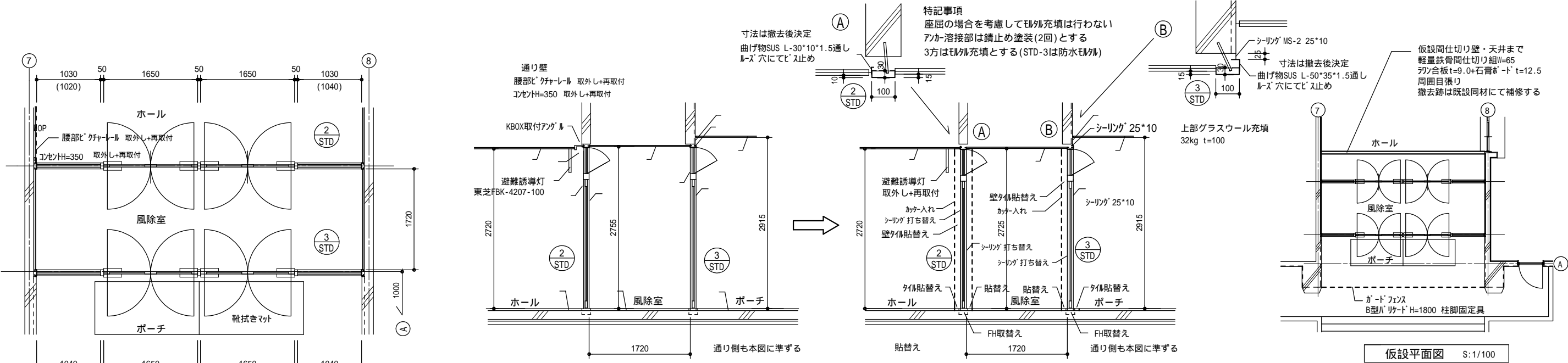
100

タイルカーペット

MEMO	(縮小率: A2 = 100%, A3 = 70%)		有限会社 永井一級建築士事務所 広島県三次市甲奴町本郷650-8 TEL0847-67-2472 広島県知事登録( 24(1)第3940号 ) FAX0847-67-3808	図面名 建築工事特記仕様書(4)		工事名 みよし運動公園出入口改修工事 設 計 図					
				縮尺 —	製作日	1級建築士 永井秀昭					No. A - 5

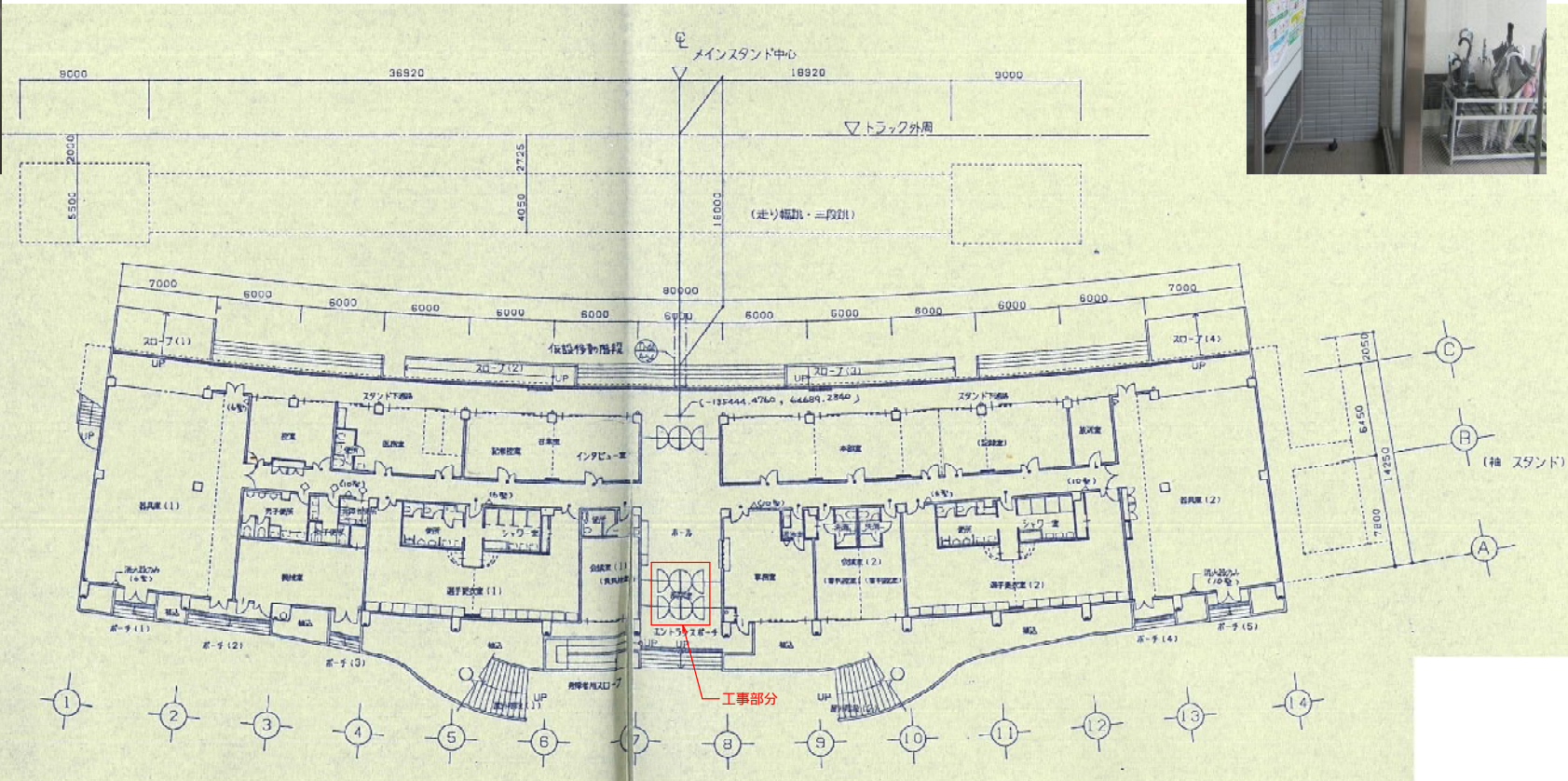
[illegible]

記号	数量	2 STD	1ヶ所	特記事項・各方立上部緩衝材取付	3 STD	1ヶ所	特記事項・各方立上部緩衝材取付	記号	仕上げ
資 図	外観図				撤去工法にて取り替え(充填材共撤去)				磁器質タイル100角 珪藻土下地
									磁器質小口タイル95*45 珪藻土下地
									合板型枠コンクリート打ち放し 複層塗材E吹付
									シーリング 15*10(外部) シーリング 10*8(内部)
									カーテンボックス 米梅120*50-25 OP塗り
									石膏ボード t=12 下張、ロックール吸音板 t=12張り(平板) 約100幅
型 式	両袖、ラマFIX・ラマ外倒し窓付き両開きドア				両袖、ラマFIX・ラマ外倒し窓付き両開きドア				石膏ボード t=12 下張、ロックール吸音板 t=12張り(リブ)
取 付 場 所	ホール ~ 風除室				ホール ~ 風除室				天井廻縁・塩ビ 底目地タイプ 風除室張替え部は突付けタイプ
枠見込・仕上	100 ステンレス HL仕上げ				100 ステンレス HL仕上げ				
硝 子	透明強化ガラス6.0mm ラマ透明t=4.0mm				透明強化ガラス6.0mm ラマ透明t=5.0mm				
建 具 金 物	空錠・FH・オペレーター装置(STD-3連動) 押し棒ステンレスL=1200 ホール側上部のみアングル				空錠・FH・オペレーター装置(STD-3連動)取替え 押し棒(エオT32-36-051) 上部曲げ物				既設のまま
備 考	メーカー標準金物一式				メーカー標準金物一式 (注意)事前に現地を実測の上施工図を作成し 監督員承諾の上、製作を行って下さい				張替え部の下張り石膏ボードはt=12.5とする



記号	参考品番
X1	ダウンライト LED100形 XND1007WINK
5	
a1	非常用照明器具 ダウンライトタイプ
1	LED 100W相当 NNFB90605K
	K1-LRS11-1 電池内蔵





1階平面図

MEMO (縮小率: A2 = 100%, A3 = 70%)



有限会社 永井一級建築士事務所  
広島県三次市甲奴町本郷650-8 TEL 0847-67-2472  
広島県知事登録 (24(1)第3940号) FAX 0847-67-3808

図面名

現況写真

工事名

みよし運動公園出入口改修工事 設計図

縮尺

製作日

1級建築士  
第111572号

永井秀昭

No. A - 8